

仕様書

1. 調達案件名

教材制作DXに係るコンサルティング業務（以下、「本業務」という。）

2. 参加条件

放送関連業務に精通し、放送事業者に対してコンサルティング業務の実績が過去5年以内に複数件あることとし、特定事業者名は伏せた形で対応した事案を列記すること。

3. 本調達の履行期間

2024（令和6）年10月1日から2025（令和7）年3月28日まで

4. 本業務の内容

放送大学学園（以下、「学園」という）では、学生に提供するすべての教材を一元管理し、効率的な業務フローの構築と二次利用やアーカイブを視野に入れたシステムの導入を目指す「教材制作DXプロジェクト」を推進している。本プロジェクトにおいて、効率的な業務フローの分析および提案とシステム導入に必要な提案依頼書（以下、「RFP」という）の提案を担当するコンサルティング業者を公募する。

5. 請負範囲

次に掲げる5.1項「現状の業務フロー分析」および5.2項「理想的な新業務フローに基づくシステム案策定」の業務を請負範囲とする。業務遂行にあたり、学園の要請に基づくミーティング（期間中20日程度）に参加すること。オンラインを基本とするが、必要に応じ対面での実施もある。

成果物作成の進捗報告（メール等で進捗率、実施内容）を定期的（2週間に1度程度）に行うこと。

5.1項および5.2項を進める過程で、学園の要請に基づき作成した資料を適宜提出すること。

5. 1 現状の業務フロー分析 (Phase 1)

教材（関連情報も含む。）（※）の制作は、複数の部署に跨って行われているが、細部に至る全体の業務フローや教材のやり取りは把握しきれていない。まず、現状の全体像をヒアリング等で把握・分析し、それをフロー図などで視覚的に表現する。

それぞれの業務負荷（所要時間、人員、経費など）を可視化し、効率化や経費削減効果がある業務の洗い出しを行う。

※教材（関連情報も含む。）の例

- ・印刷教材：放送授業用テキスト。
- ・放送教材：動画、音声による放送コンテンツ（放送授業、生涯学習支援番組、特別講義、告知番組など）。放送教材の字幕。
- ・オンライン授業教材：インターネット専用の動画コンテンツ、図表を含むドキュメント、小テスト問題等。
- ・面接授業教材：各地の学習センター等で行う対面授業用コンテンツ。
- ・ライブWeb授業教材：対面とオンラインでリアルタイムに双方向で接続する授業用コンテンツ。
- ・インターネット配信教材：放送授業と同じコンテンツを、インターネットを利用してオンデマンドで配信するコンテンツ。
- ・公開講座教材：非学生も対象にした対面とYouTubeでのライブ配信による公開講座のコンテンツ。
- ・インターネット配信公開講座教材：登録制によるキャリアアップ支援認証制度対応講座用コンテンツ（有料）と放送している生涯学習支援番組の一部のコンテンツ（無料）。
- ・放送大学オープンコースウェア（OCW）教材：非学生も学園ウェブサイトからアクセスして閲覧可能な無料コンテンツ。放送授業コンテンツがベース。
- ・教務情報システム（システムWAKABA）の開講／閉講科目情報（担当講師、シラバス、放送授業の時間割等教材制作に必要な付加情報）。

5. 2 理想的な新業務フローに基づくシステム案策定 (Phase 2)

Phase 1で明らかになった現状の業務フローから、より効率的な新たな業務フローを提案し、現状のフローと比較して効率化および経緯削減効果を可視化する。

また、実現するために必要なシステム機能要件を最新の技術動向や放送分野での具体的事例を踏まえて取りまとめ、RFPの提案書を作成する。

【システム構築に必要な要件の取りまとめの例】

- ・システムに必要な機能の定義
- ・効率的な業務に関する事項
少なくとも以下の項目を明示すること。
業務フローの新旧比較（効率化、経費削減効果がわかるもの）
システム導入及び維持に必要な人員体制
メンテナンスの頻度と保守管理体制
コンテンツ登録時のフロー
著作権情報との紐づけ方法
- ・システム構成と機能ブロック
- ・既存周辺設備（教務情報システム、図書システム、放送システム、著作権情報管理システム等）とのインターフェース
- ・わかりやすく、データの二重入力を抑制するシステム設計
- ・システムの非機能要件（可用性、性能拡張性、運用保守性）に関する事項
- ・システム設置場所に関する事項
- ・作業工程に関する事項（システム設計、既存データ移行、テスト工程、習熟等）
- ・経費の概算額に関する事項（開発コスト、ランニングコストのいずれも記載）

5. 3 留意事項

実施にあたっては、以下の点に留意すること。

- ・機能の拡張性を十分考慮したシステムの提案とすること。

6. 情報および資料の提供

本業務に関して、以下の項目については学園が情報および資料の提供など便宜を図る。

- ・現状の教材制作に関するシステムが扱うコンテンツや関連情報の詳細
- ・その他、学園が本業務の実施にあたり必要と認めた事項

7. 成果物の納入

「現状の業務フロー分析」を踏まえた「理想的な新業務フローに基づくシステム案策定」に関する「『提案依頼書（RFP）』提案書」を納入期限までに以下形態で納品すること。

印刷物（A4版、ただし図面はA3版でも可）…3部
電子データ…PDFおよびMicrosoft Word形式

8. 納入期限

2025（令和7）年3月28日

9. 納入場所

千葉県千葉市美浜区若葉二丁目11番地
放送大学学園 次世代教育研究開発センター

10. その他

- ・個人情報の取り扱いについては、厳重に行うこと。
- ・請負者は、本業務の遂行にあたり知り得た情報について、学園の許可なく他に漏らしてはならない。
- ・請負者が学園に提出すべき成果物は学園の所有とする。その成果物に請負者が従前から保有する知的財産権（著作権、ノウハウ、アイデア、技術、情報等を含む）が含まれていた場合は、請負者に留保されるが、学園は成果物を利用するために必要な範囲において、これを無償かつ非独占的に利用できるものとする。
- ・本仕様書に関する詳細および内容に疑義がある場合は、学園と協議のうえ決定する。
- ・本仕様書を変更する必要がある場合は、学園および請負者の双方の合意により変更できるものとする。
- ・本業務において必要となる事務用品等の調達、場所の確保、交通費、通信費等については請負者の負担とする。